

個人山行報告書

通算山行NO	NO. 1421	報告者	後藤隆徳
年 月 日	2010年8月6日(金)～8日(日)	2万5千	剣岳
山 名	北ア・剣岳(2999m、三角点は2997.1m)		
体力度=5・厳しい 技術度=4・やや難しい 道標=ある 駐車場=ある トイレ=各小屋 展望度=よい 三角点名=剣岳 等級=三等			
<h2>厳しい岩山の縦走</h2>			
コース とタイム	6日=下土狩3:00-馬場島発10:30-早月小屋16:00(泊) 7日=早月小屋発4:00-剣岳7:50-剣山荘11:30-室堂15:50-立山温泉(泊)		
標 高 差	上り 馬場島約750m～剣岳2999m=約2249m 下り 剣岳2999m～室堂約2433m=約566m(単純標高差)		
参 加 者	L後藤隆徳、近森正彦、村山忠彦、ほか全16名		



6日=晴。初めて剣に上ったのは早月尾根。20歳前半だったが、当時、早月小屋はなく、現在の下に避難小屋があった。

その時電車を使ったが、どの様に行ったか全く覚えていない。ただ、避難小屋で東京の男子学生と交流しその後、手紙をやり取りしたことは覚えている。

「夏の早月尾根は上るな」と言われる。兎に角暑いのだ。出掛ける前、富山の気温は36・7度だった。フェーン現象で静岡より暑い。

今回も例外で無かった。暑いでなく熱いのだ。体温・血液温が上がり脳に回って意識が朦朧としてくる。加えて3時発で寝不足が追い打ちをかける。

標高2000mで少し涼しくなった。池塘があり水で頭を冷やした。早月小屋はこのすぐ上の標高2223mに立っている。ここは水がないので、ミネラルウォーター2L800-で買う。ビアは350mlが800-。高いが3本やってしまった。

小屋利用者は20名程。トイレは外に大きいのがある。テントは4張。夕食は豪華なビフテキを食す。ここから正面に剣岳、左手に小窓尾根が大きい。夜半にフライシートを雨が叩いた。

7日=晴。4時ヘッドランプで出発。ここから頂上まで800m弱。厳しい登攀が待っている。





左・カニのハサミ下

下・カニのヨコバイ



森林限界を過ぎると岩山になった。ここは5月・12月も上っているが、記憶が全くない。ただ、5・12月は非常に厳しいことは確か。上部は花が良かった。種類も豊富。下から別山尾根分岐標識が見えた。頂上に朝日が差し霧が去来する。

カニのハサミは全く問題なかった。もう少し難しい記憶だったが。霧の頂上に立った。5名の女性班もよく上った。

別山尾根を下る。カニのヨコバイは最初の一步がポイントで、思い切って体を伸ばし一段下のフット・ホールドを利用すると楽になる。ここも問題なかった。平蔵のコルから前剣に向かう。気が抜けない鎖場が続く。剣沢から沢山上って来る。中に「山ガール」がいた。ここは午後渋滞するので、午前通過したい。前剣で22年前、東大谷（ひがしおおたん）に墜死したY君に手を合わせる。

剣山荘でビアとカップラーメンをやってしまった。ラーメンは何と550ー！まあ、でも美味しかった。剣沢を別山乗越に上り返す。厳しい上り返しだ。ここから剣がいいのが救い。乗越から雷鳥沢に下り、再び室堂まで上り。足が上がらない。足裏が痛い。荷物が重い……。

観光客でごった返す室堂に着いた。16時だから今日は12時間行動だった。激しく厳しい山だった。「試錬と憧れ」は、馬場島にある石碑の有名な言葉だ。今回はまさにそれにふさわしい山だった。



剣沢を上る